

目 次

緒 言	2
調査研究	2
結 果 保 健 所	3
市区町村	20
総 括	36
資 料	38

ソーシャルマーケティング理論を用いた 効果的な生活習慣病対策に関する研究

主任研究者 中原俊隆

昨年度は保健所と公的医療機関、私的医療機関、市区町村、企業、学校、NGO,NPO の関係を主として生活習慣病等の promotion の点から検討した。

本年度は保健所、市区町村、公的医療機関、私的医療機関、企業、学校、NGO,NPO における健康教育のネットワークについて調査検討した。

「健康日本 21」を推進するために健康教育の必要性はますます高まっているが、市区町村・保健所によっては健康教育を開催していないことが今年の調査から把握できた。

本年度は保健所・市区町村がその関係機関への紹介等がどのように行われているかについて、現状把握のための調査をした。

調査研究

方法および対象

日本国内の全ての保健所（支所は除く）全ての市区町村に対して郵送法によりアンケートを実施した。アンケートの内容は基本的には同一のものとした。（資料参照）

送付、回収

	送付数	回収数	回収率
市区町村	3199	1196	37.4%
保健所	582	291	50.0%

以下、保健所、市区町村の順に結果を示す。

保健所における健康教育

A. 高血圧に関する健康教育について

1. 保健所、市区町村以外で高血圧教育が行なわれている団体を認識している保健所は少ない。高血圧教育を行っている公的・私的病院を認識している保健所は全体の2割前後であり、その教育内容はあまり把握されていない。市区町村の教育内容は比較的よく把握されている。

(図1、2)

図1. 高血圧の健康教育を行っている団体

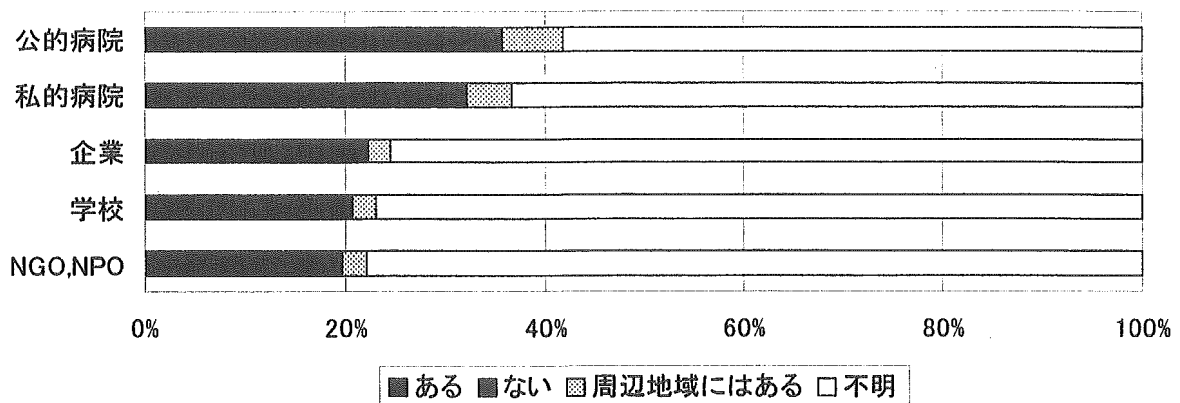
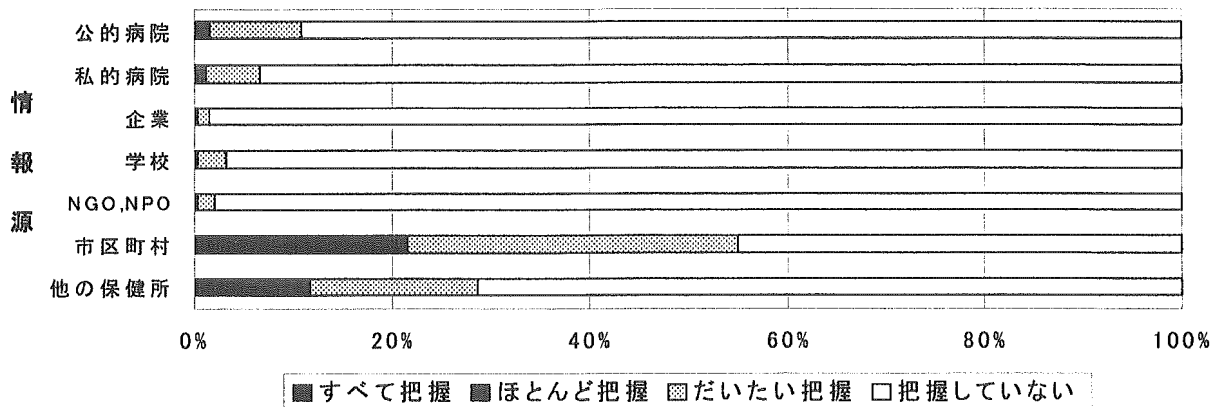
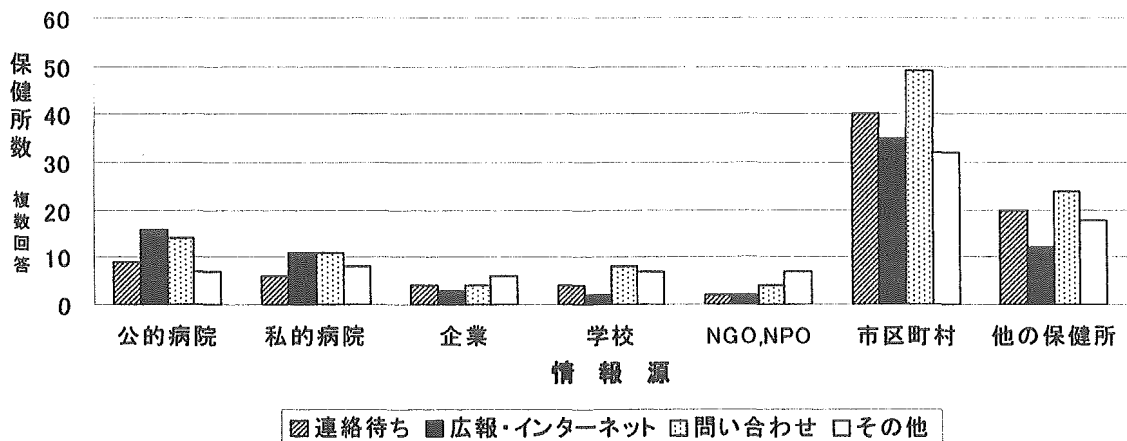


図2. 情報の把握



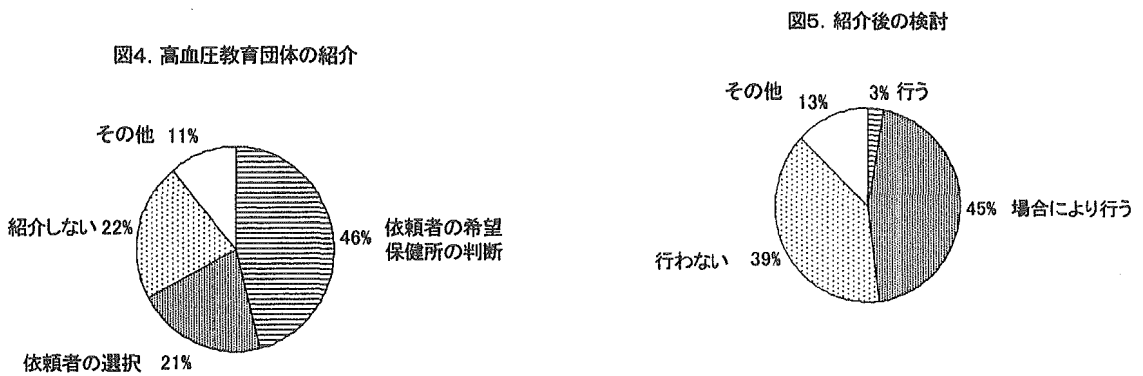
2. 市区町村よりの情報がもっとも多く、その手段の種類が多さから見ても交流が盛んである。他の保健所よりの情報がそれに次ぐ。

図3. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は7割近くの保健所で行われている。紹介についてその後の検討が行われたのは半数以下である。

(図4、5)



4. 今後の積極的な情報交換としては、引き続き主に市区町村、保健所との相互の情報交換を行う傾向が見られる。今後の協力体制についても、市町村、および他の保健所との現状維持の方向である。(図6、7、8)

図6. 今後の積極的な情報収集

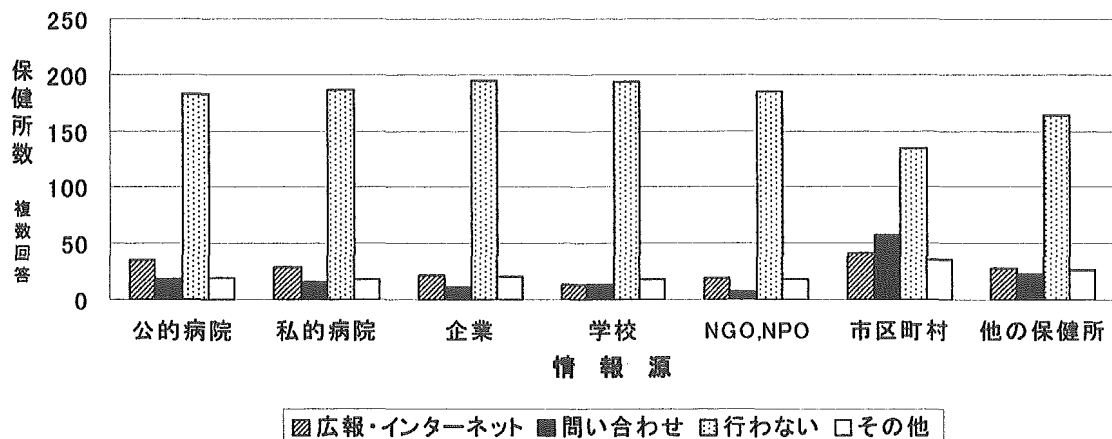


図7. 今後の積極的な情報提供

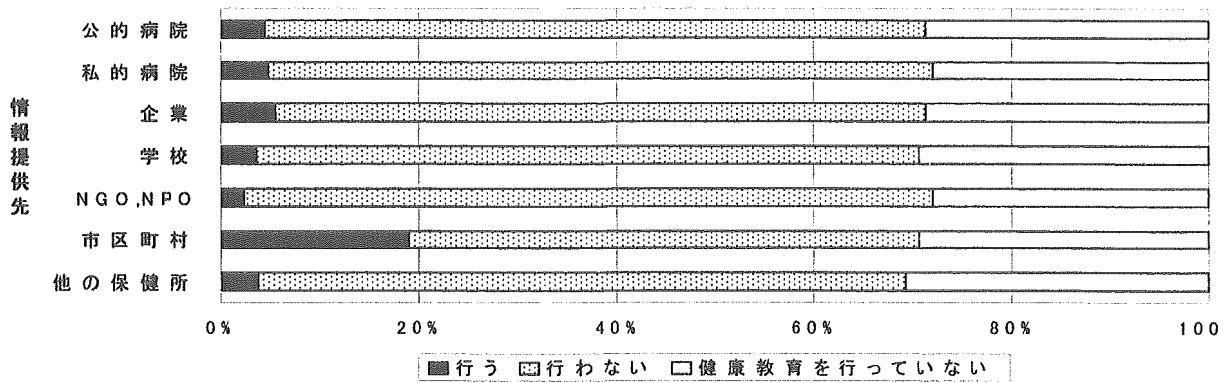
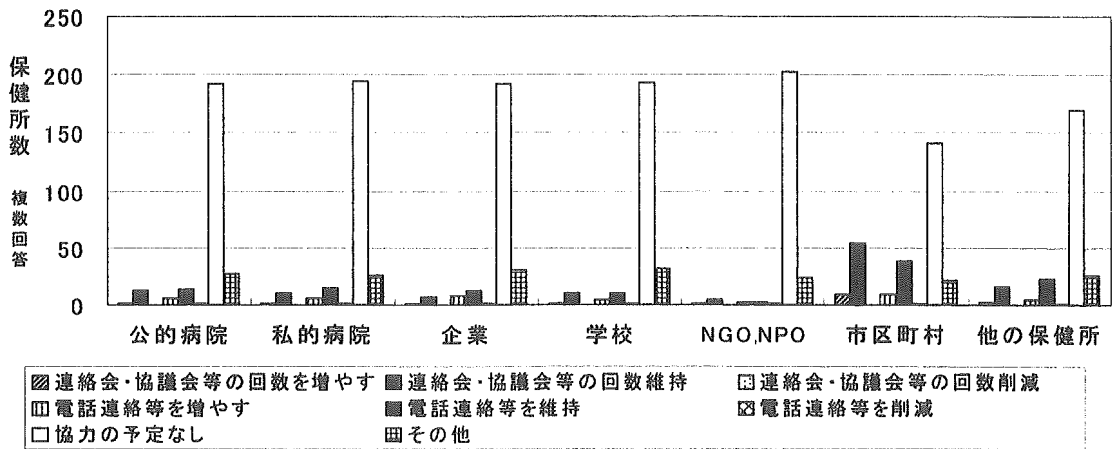


図8. 今後の協力体制



B. 糖尿病に関する健康教育について

1. 糖尿病教育を行っている公的・私的病院を認識している保健所は約半数である。その内容の把握をしてみると、市区町村による教育内容はよく把握されており、他の保健所、公的・私的病院が次いでいる。（図9、10）

図9. 糖尿病の健康教育を行っている団体

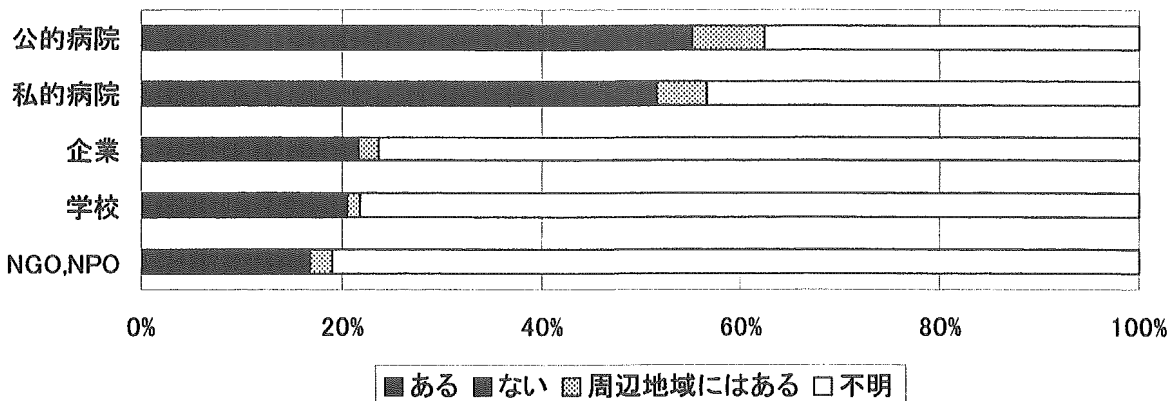
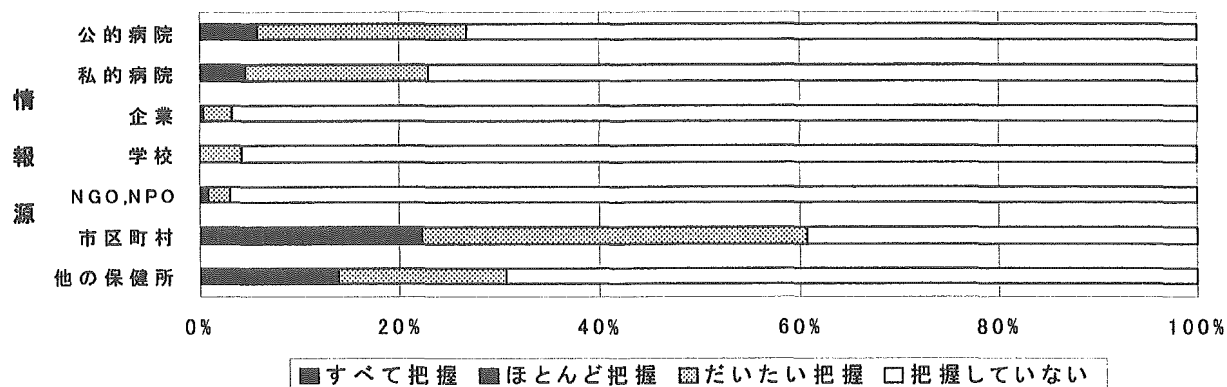
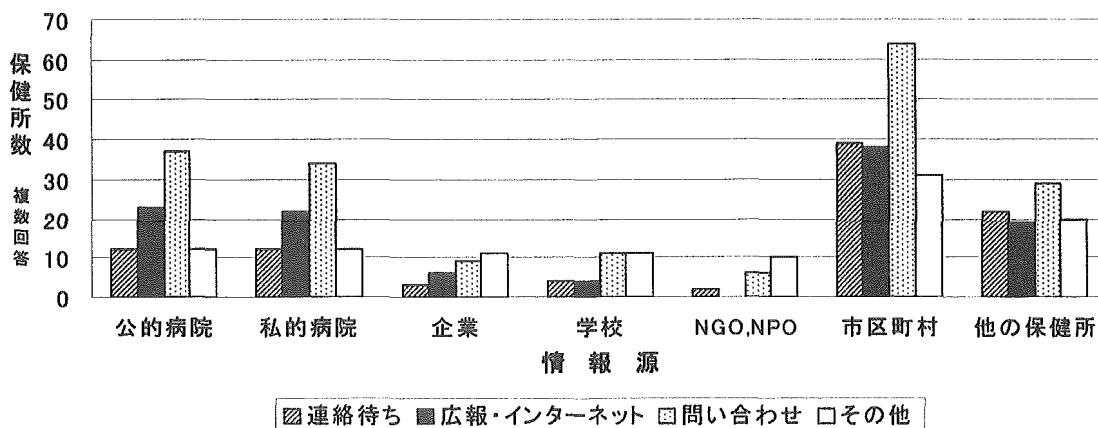


図10. 情報の把握



2. 情報源としては、市区町村を挙げる保健所がもっとも多い。広報・インターネット、問い合わせなど、積極的に情報を得る情報源としては、保健所よりも公的・私的病院の方が件数が多い。

図11. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は7割を超える保健所が行っている。その後の検討は約半数で行われた。
(図12、13)

図12. 糖尿病教育団体の紹介

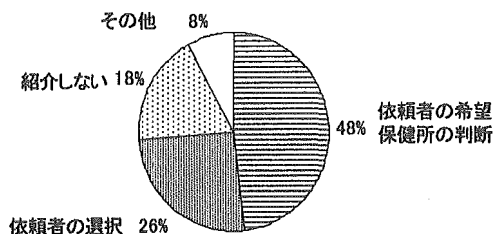
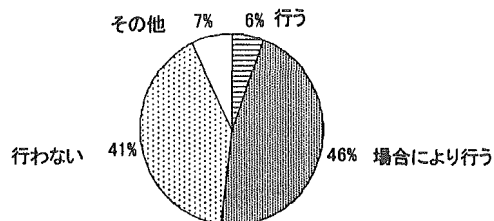


図13. 紹介後の検討



4. 今後の積極的な情報の収集先、および情報の提供先としては、市区町村に次いで公的・私的
 病院が挙げられており、他の保健所よりも情報交換先としては数が多い。

(図 14、15)

図 14. 今後の積極的な情報収集

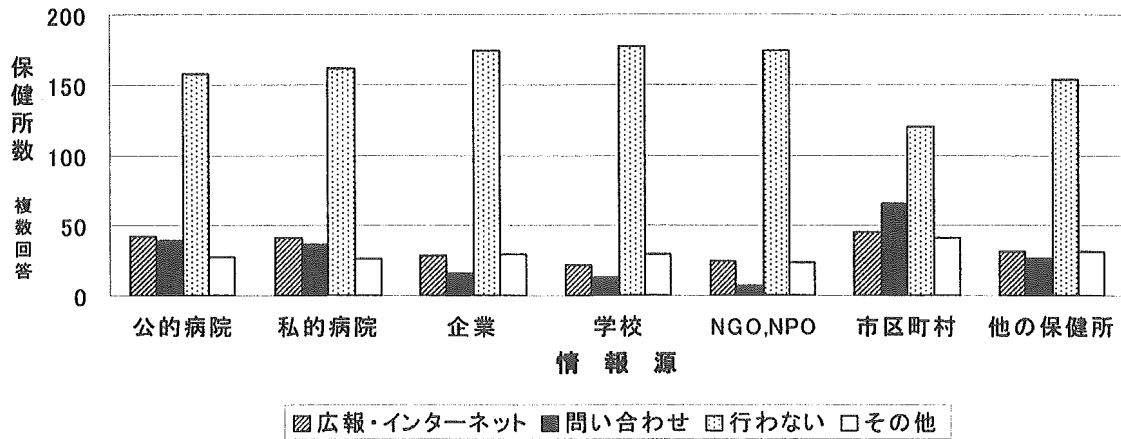
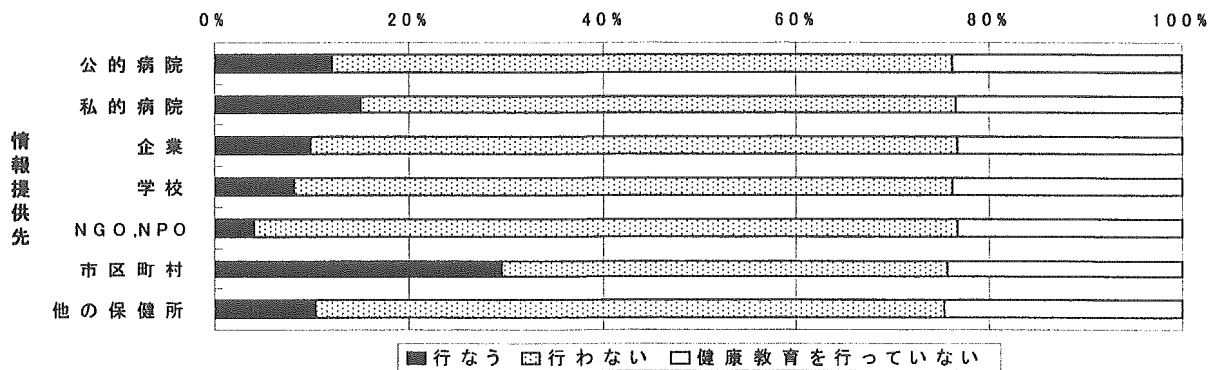
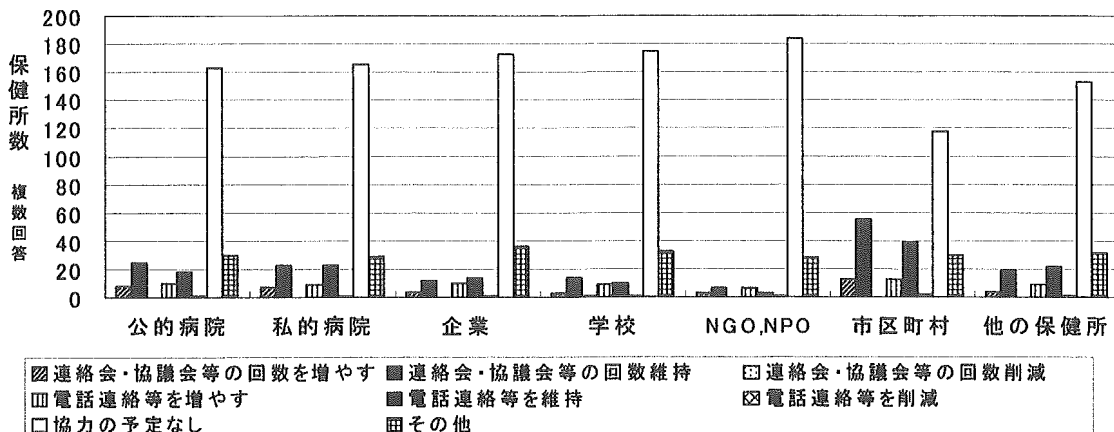


図 15. 今後の積極的な情報提供



5. 今後の協力体制としては、市区町村、および公的・私的病院、他の保健所などとの現状維持
 の傾向が見られる。

図 16. 今後の協力体制



C. 高脂血症に関する健康教育について

1. 高脂血症の健康教育を行っている団体を認識している保健所の割合は低い。市区町村による教育の内容は理解されているが、他の団体によるものの内容の把握は低い。

(図 17、18)

図17. 高脂血症の健康教育を行っている団体

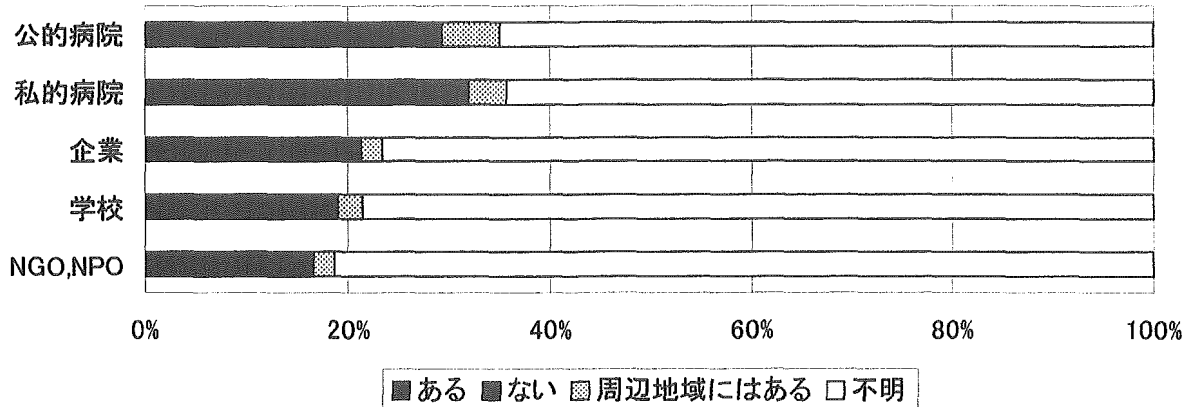
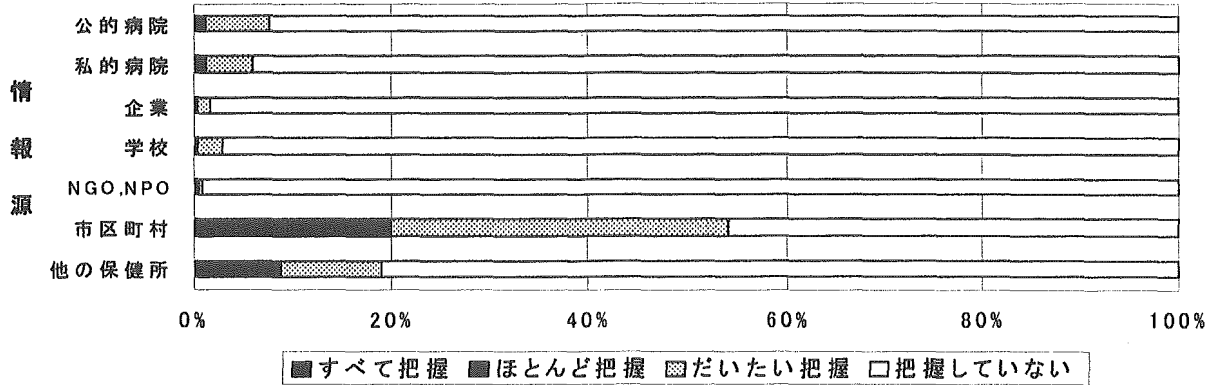
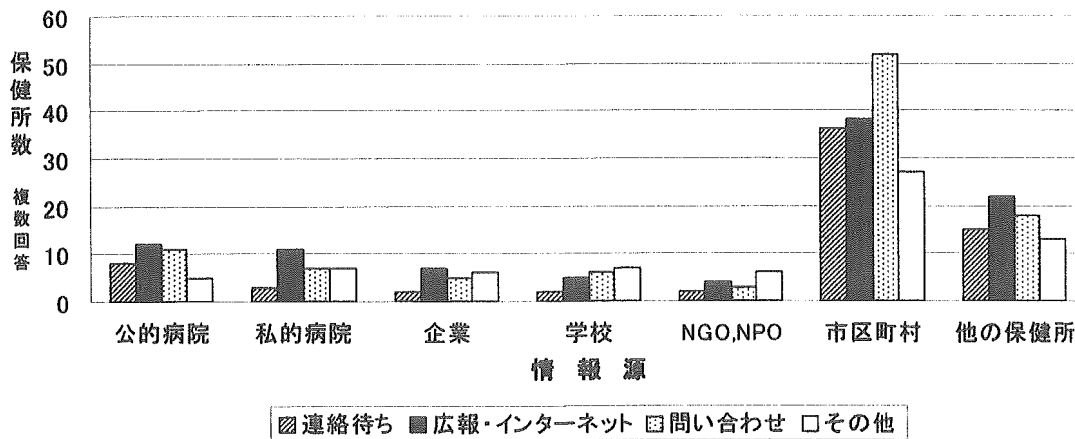


図18. 情報の把握



2. 市区町村からの情報が主な情報源であり、他の保健所がそれに次いでいる。他の団体からの情報は非常に少ない。

図19. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は約7割の保健所で行われ、そのうち約半数が紹介後の検討がなされた。

(図20、21)

図20. 高脂血症教育団体の紹介

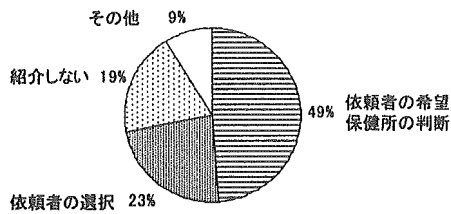
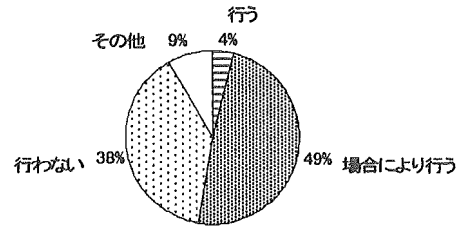


図21. 紹介後の検討



4. 今後の積極的な情報交換の対象としては、市区町村を挙げる保健所が若干あるものの、全体としては少ない。協力体制も市区町村との会議と電話連絡の維持程度である。

(図22、23、24)

図22. 今後の積極的な情報収集

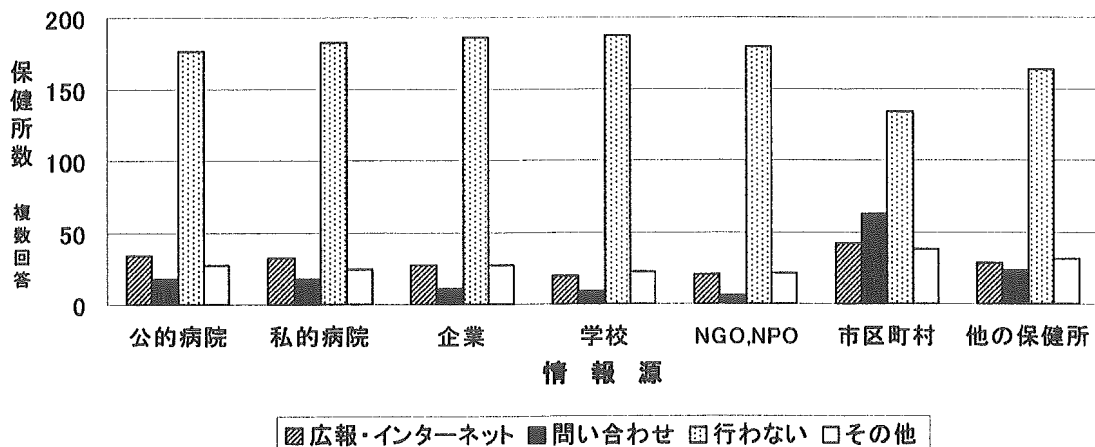


図 23. 今後の積極的な情報提供

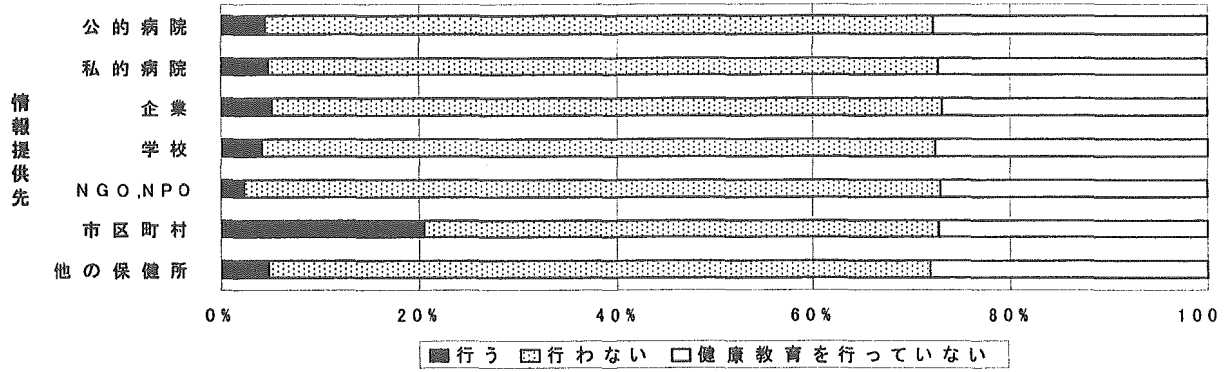
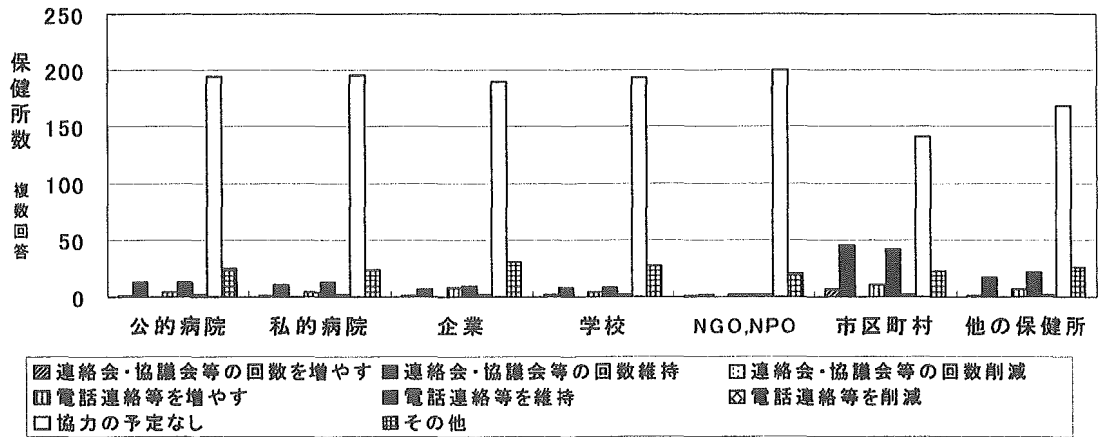


図 24. 今後の協力体制



D. 骨粗鬆症に関する健康教育について

1. 教育を行っている団体を認識している保健所は非常に少ない。情報の内容は市区町村によるもの以外はよく把握されていない。

(図 25、26)

図 25. 骨粗鬆症の健康教育を行っている団体

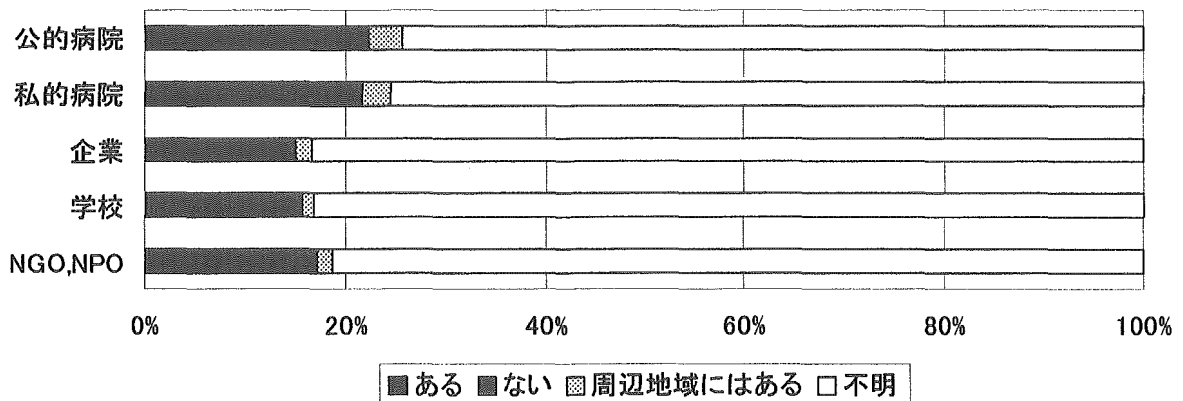
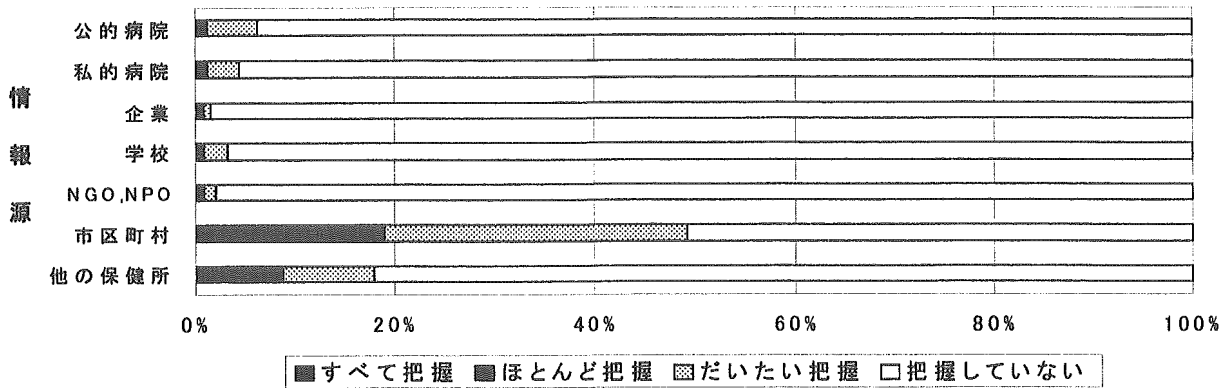
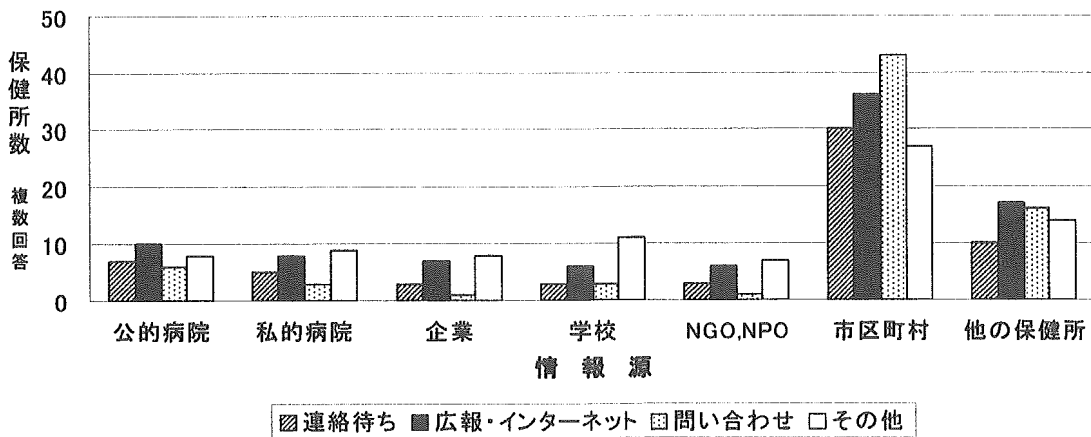


図26. 情報の把握



2. 情報源としては主に市区町村であり、他の保健所がそれに次ぐ。

図27. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は約 7 割の保健所で行われており、その後の検討を行った保健所は半数に満たない。

(図 28、29)

図28. 骨粗鬆症教育団体の紹介

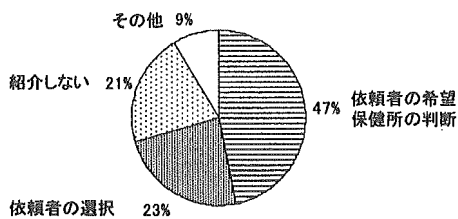
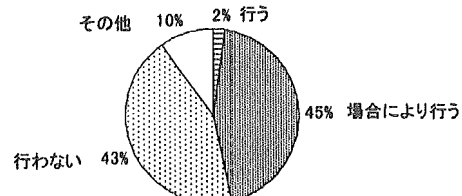


図29. 紹介後の検討



4. 今後の積極的な情報交換は計画されていない傾向にある。今後の協力体制も市区町村との現状維持が主なものである。

(図 30、31、32)

図30. 今後の積極的な情報収集

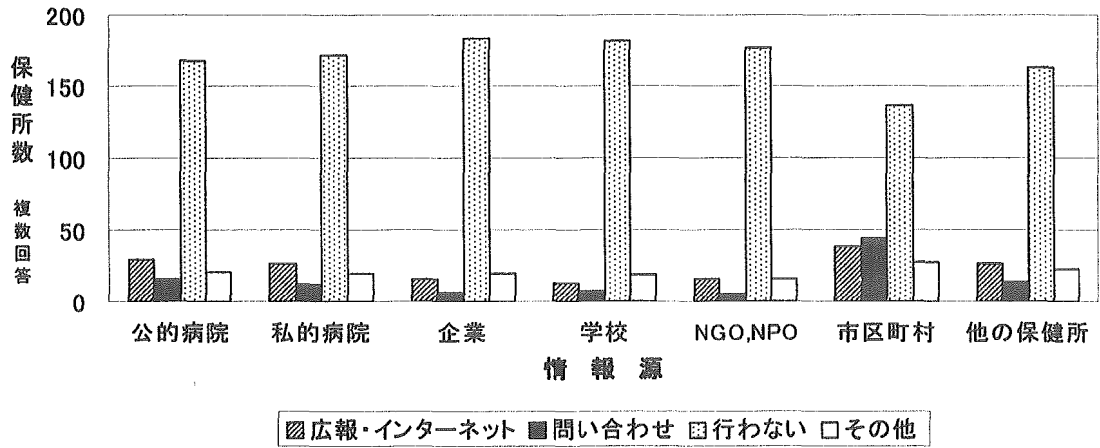


図31. 今後の積極的な情報提供

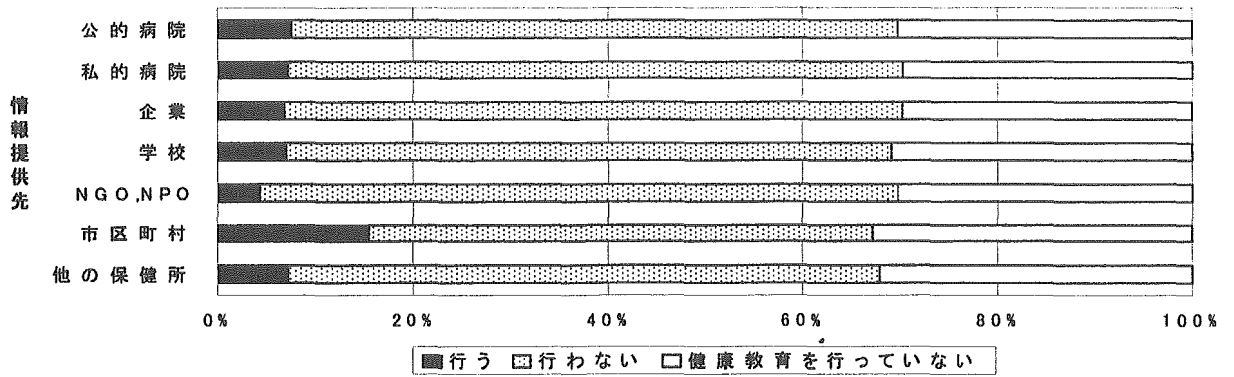
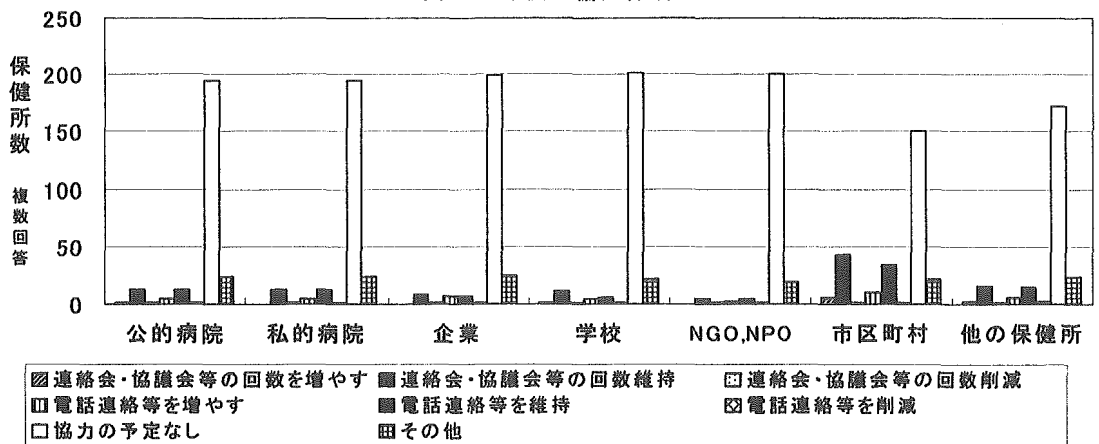


図32. 今後の協力体制



E. 禁煙に関する健康教育について

1. 学校における教育の認知度が高い。私的病院がそれに次いでいる。しかしその内容はあまり把握されていない。(図 33、34)

図33. 禁煙の健康教育を行っている団体

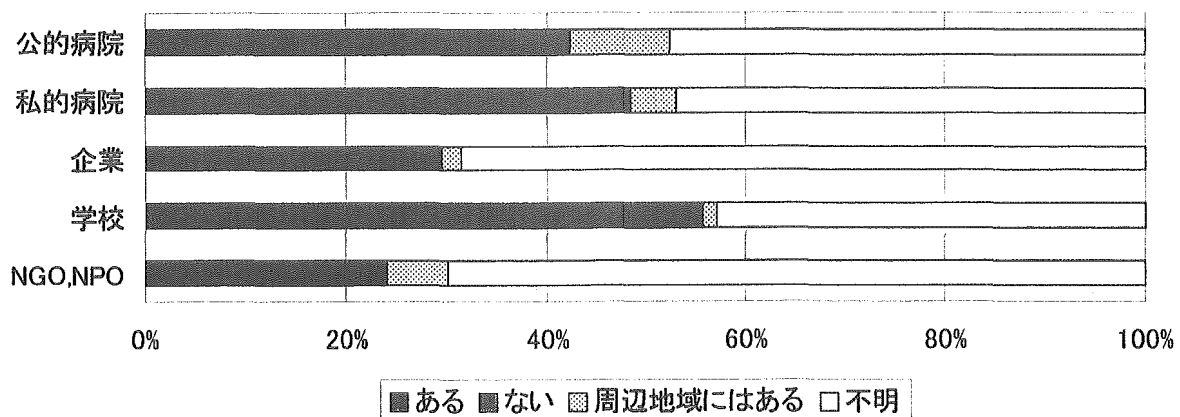
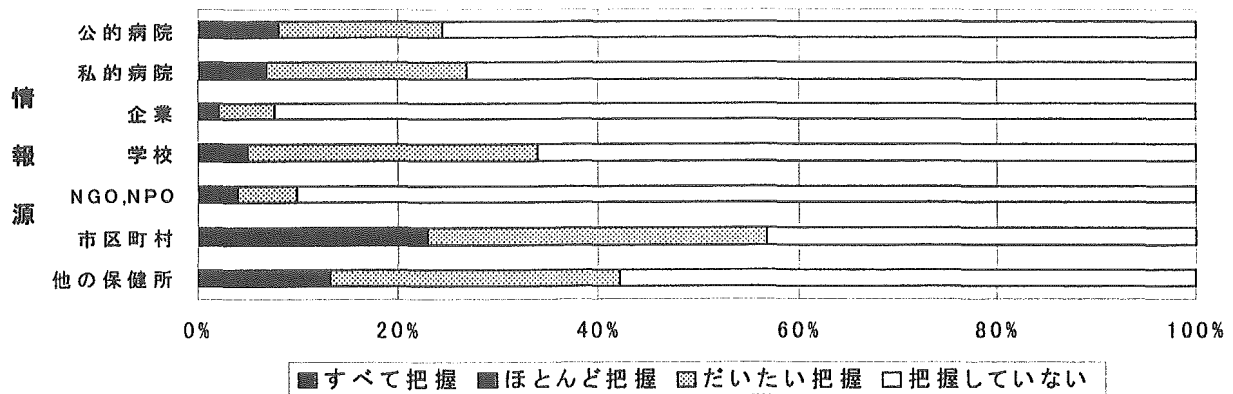
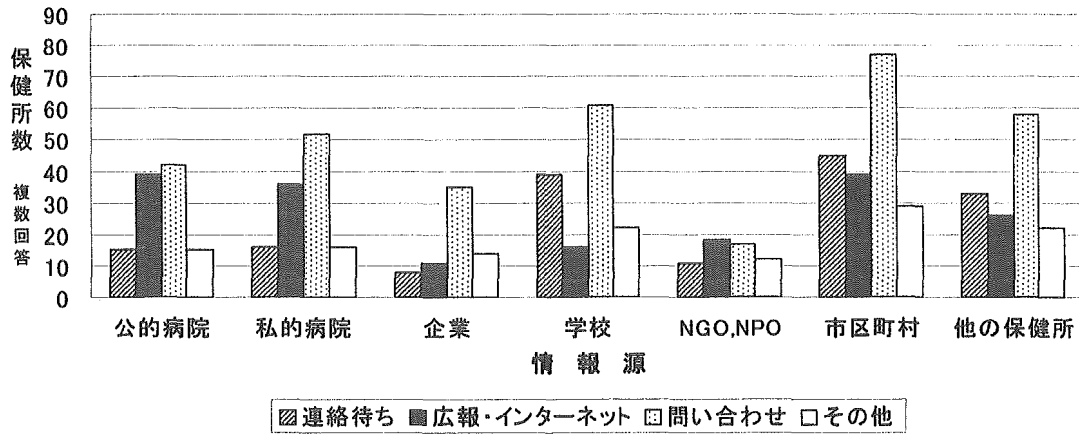


図 34. 情報の把握



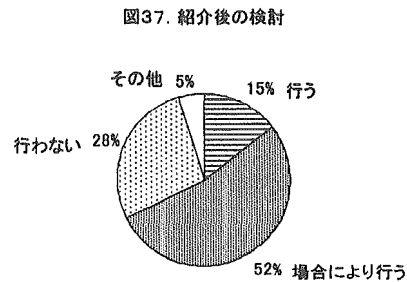
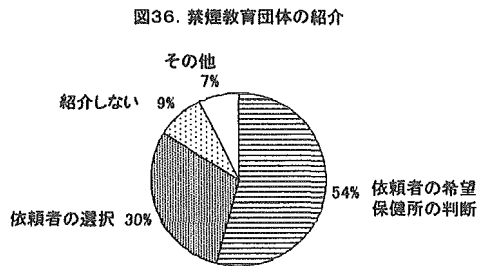
2. 情報源としては市区町村に次いで、他の保健所と学校、さらに私的・公的病院が挙げられる。企業への問い合わせも若干ある。禁煙教育の情報源とその情報を収集する方法は多様である。

図35. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は8割を超える保健所で行われている。教育団体に関する情報を全て示し、取捨選択は依頼者の選択に任せる方法の割合が他の健康教育に比べて高い。紹介後の検討を行わない保健所の割合は、他の健康教育に比べて低い。

(図 36、37)



4. 市区町村とは今後も積極的に情報交換を行う傾向が見られる。学校・企業へ情報の提供を積極的に行うという回答が目立つ。情報提供を求められることが多いと思われる。

(図 38、39)

図38. 今後の積極的な情報収集

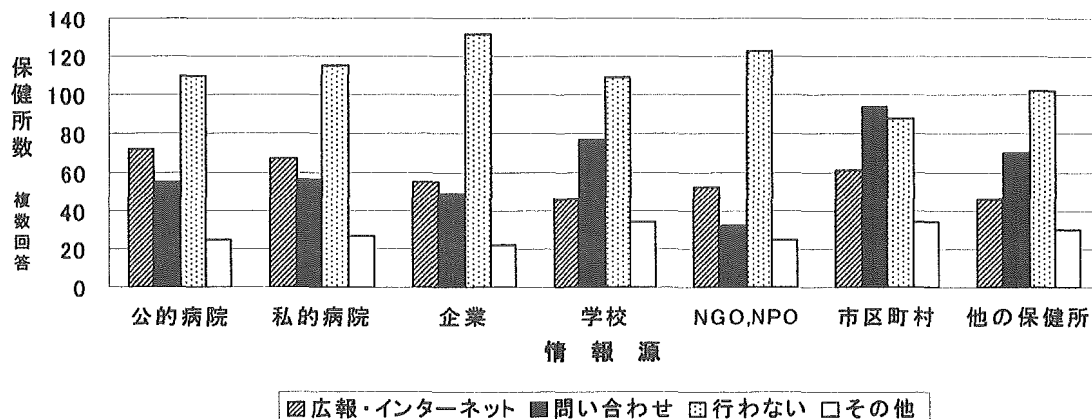
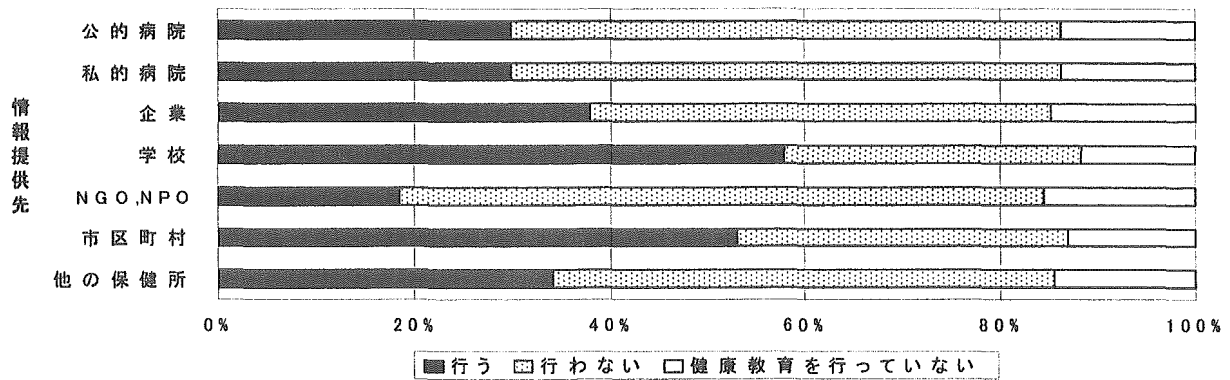
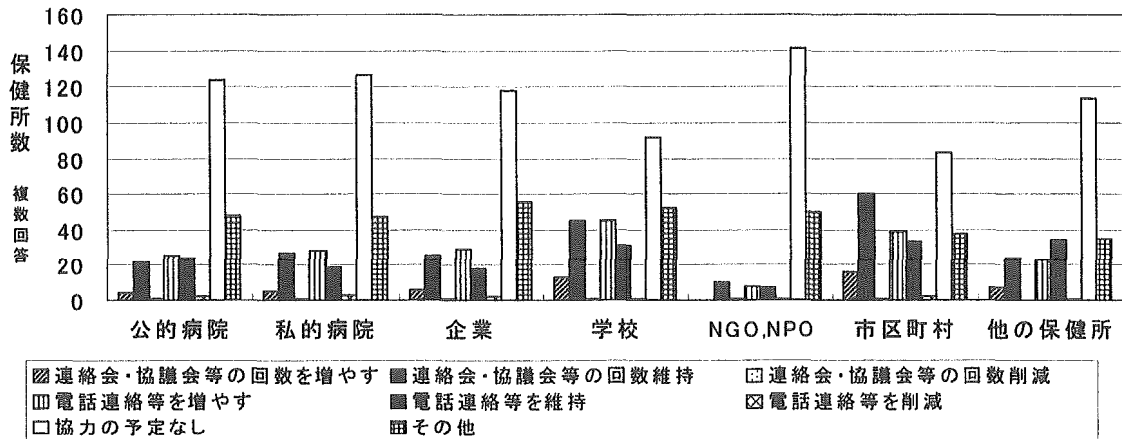


図39. 今後の積極的な情報提供



5. 他の保健所以外とは、電話連絡等を増やすという回答数が、同手段を維持するという回答数を上回った。

図40. 今後の協力体制



F. エイズに関する健康教育について

1. 学校以外の団体で教育を行っているとは認識されているところは少ない。しかし学校における教育の内容はよく把握されていない。(図41、42)

図41. エイズの健康教育を行っている団体

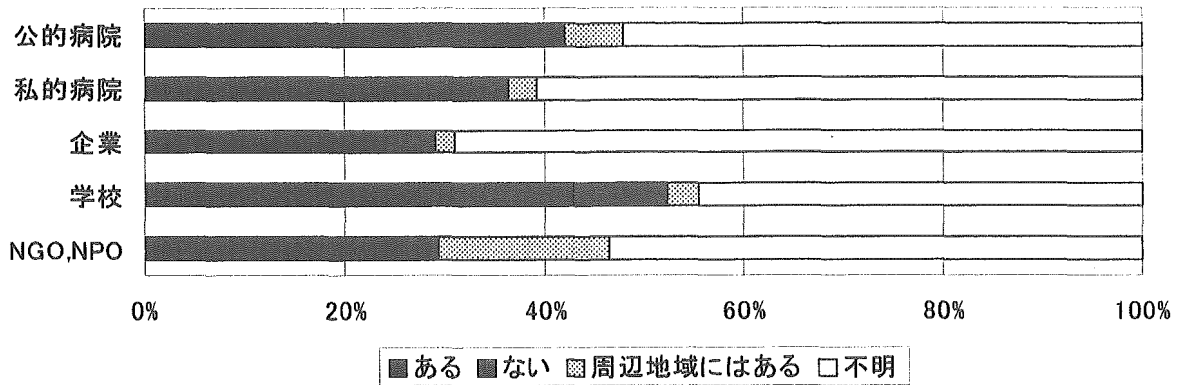
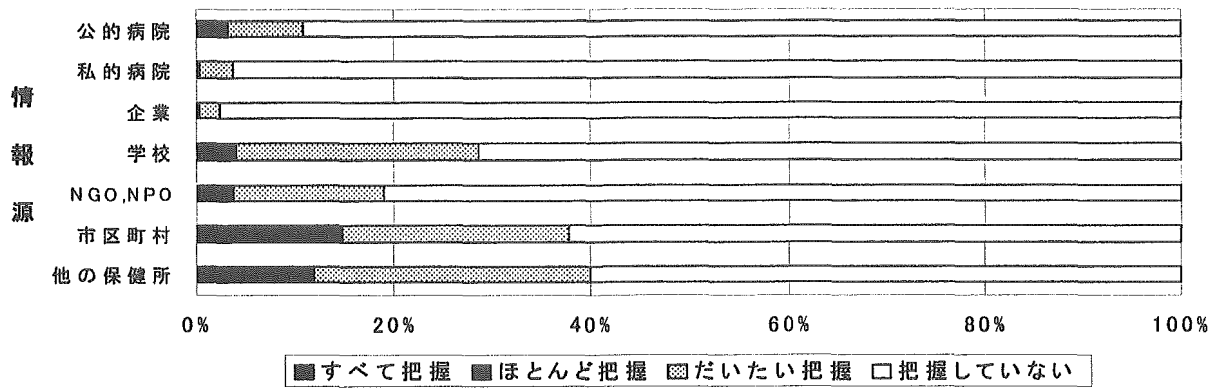
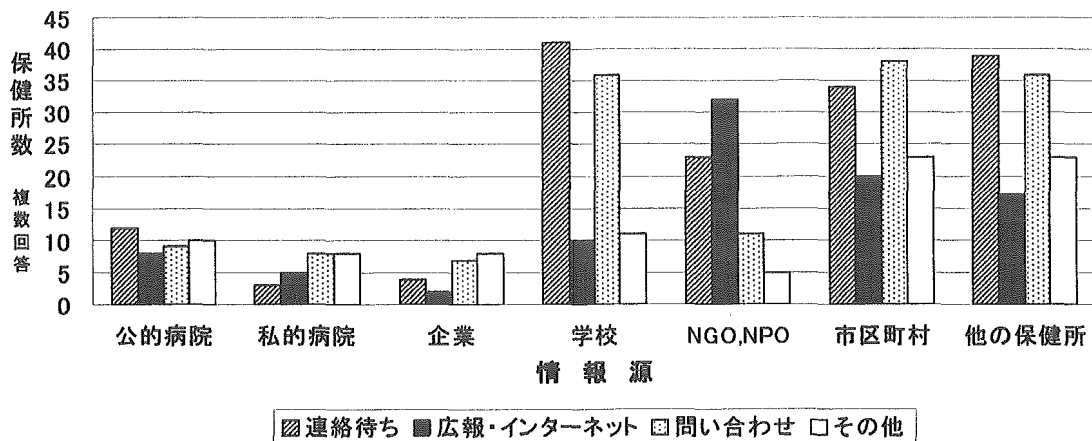


図42. 情報の把握



2. 学校と NGO,NPO からの情報が多いのが、他の健康教育と大きく違うところである。さらに、学校へは問い合わせも多いが、NGO,NPO への問い合わせは多くはない。

図43. 情報収集の方法



3. 教育団体の紹介は7割以上の保健所が行い、紹介後の検討も多くの保健所で行われた。(図44、45)

図44. エイズ教育団体の紹介

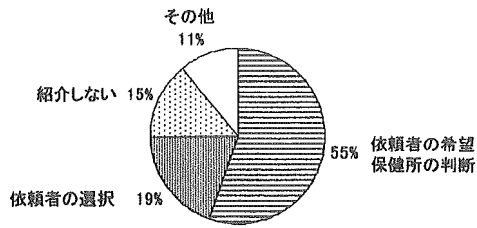
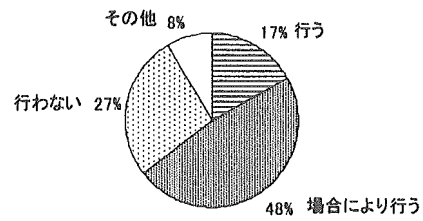


図45. 紹介後の検討



4. 今後の傾向としては、NGO,NPO の広報・インターネットによる情報と、学校に問い合わせるという方法で情報を得る方法が多く、学校や市区町村に積極的に情報を提供するという傾向である。

(図 46、47)

図46. 今後の積極的な情報収集

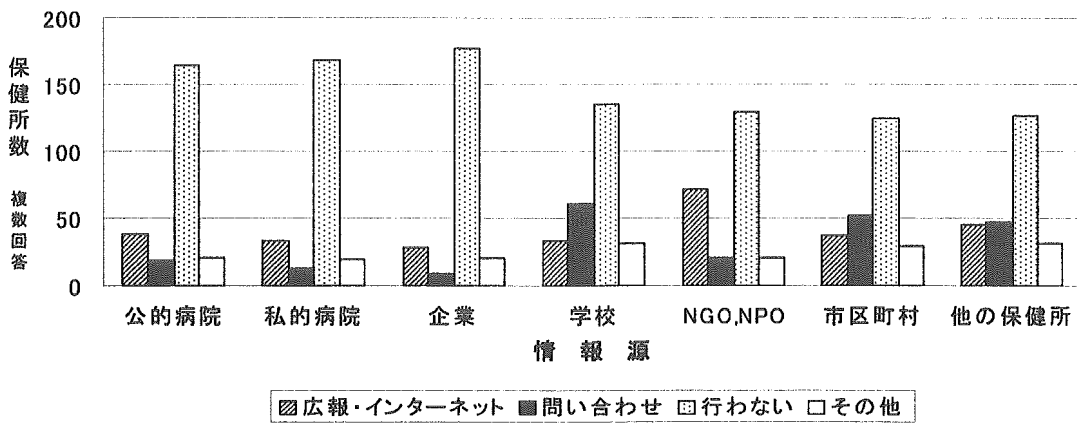
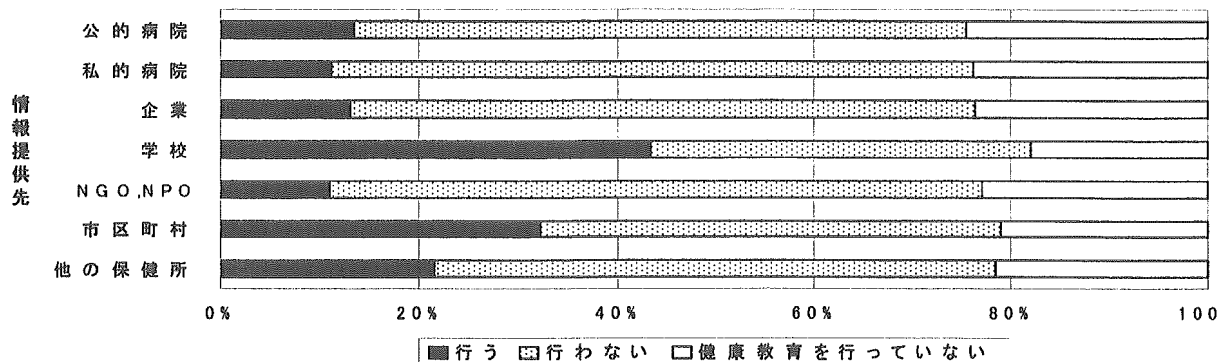
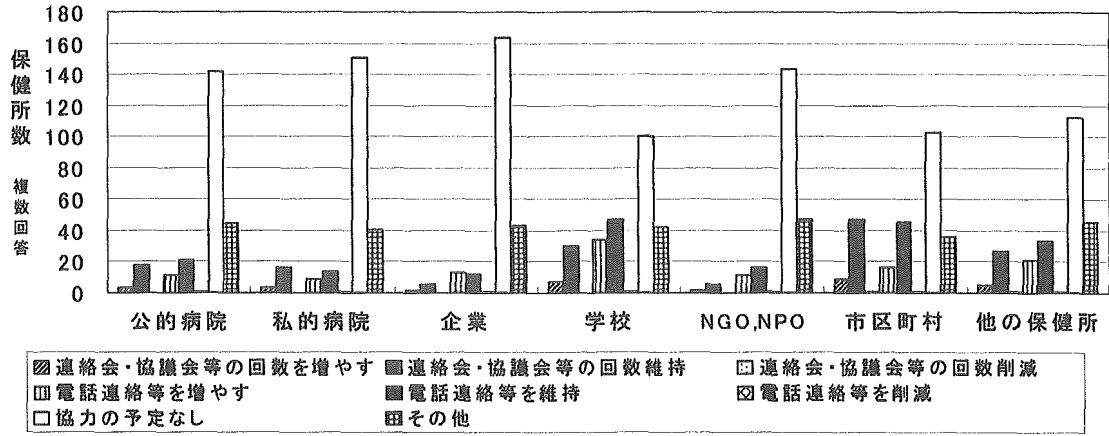


図47. 今後の積極的な情報提供



5. 今後の体制としては、市区町村とは現状維持、学校とは電話連絡等をやや増やすという傾向である。

図48. 今後の協力体制



まとめ

保健所と市区町村、公的医療機関、私的医療機関、企業、学校、NGO,NPO、他の保健所との、健康教育に関するネットワークについて検討した。

現状では、全体的に市区町村とはよく情報交換が行われている。また、健康教育の種類による特徴が見られる。

1. 市区町村と他の保健所との情報交換が主であるもの：高血圧病、高脂血症、骨粗鬆症
2. 医療機関との情報交換が主であるもの：糖尿病
3. 市区町村と他の保健所、医療機関さらに学校との情報交換が多いもの：禁煙
4. 市区町村と他の保健所、学校さらに NGO,NPO との情報交換が多いもの：エイズ

今後の協力体制でも特徴が見られる。市区町村と他の保健所との現状維持はすべての種類の健康教育にみられるが、その他に以下の特徴がある。

1. 市区町村と他の保健所との現状維持以外、将来的な協力体制のないもの：高血圧、高脂血症、骨粗鬆症
2. 市区町村と他の保健所との現状維持さらに医療機関との現状維持が主であるもの：糖尿病
3. 市区町村と他の保健所と医療機関、さらに学校と企業との現状維持に加え、それらとの情報交換を増やす傾向のあるもの：禁煙
4. 市区町村と他の保健所、学校との現状維持に加え、それらとの情報交換を増やす傾向のあるもの：エイズ

健康増進法が施行されて初めての調査であるので、学校に加え、企業の禁煙教育に関する興味が高まっているものと思われる。

市区町村における健康教育

A. 高血圧に関する教育

1. 管轄地域内に高血圧に関する教育を行っている団体があると認識している市区町村は少ない。そのような公的・私的病院があると答えた市区町村は1割以下である。内容はほとんど把握されていない。(図49、50)

図49. 高血圧の健康教育を行っている団体

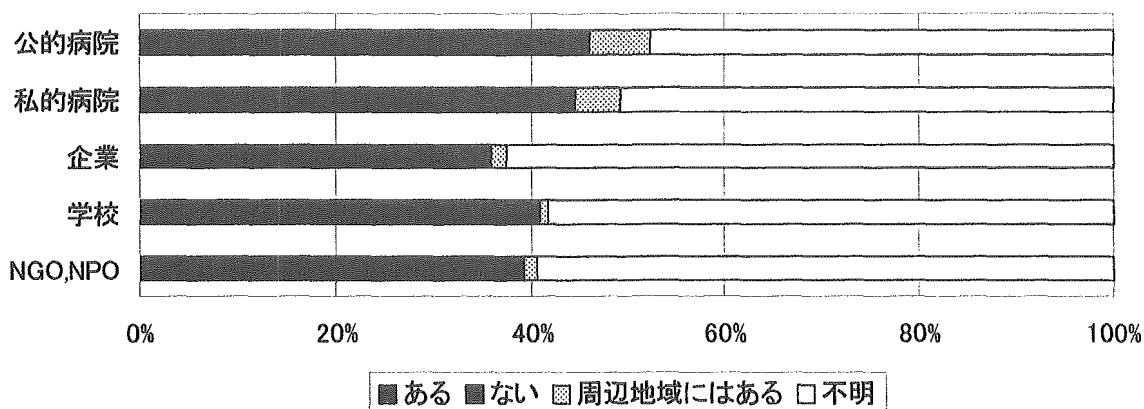
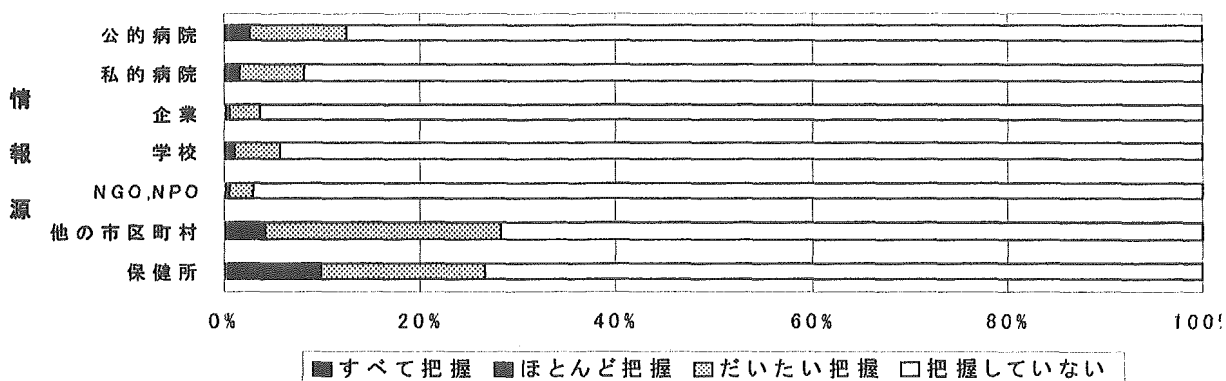


図50. 情報の把握



2. 他の市区町村と保健所からの情報が多。公的病院がそれに次ぐ。